

連合会だより 70号

226 団体
89,275 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人 松元 洋

東京防災

役員及び会長 研修会報告

2月11日（土）13時～

今回の会長研修会は避難所開設・運営マニュアル作成をテーマに市庁舎災害対策本部で開催しました。休日にもかかわらず 153 名の各会長、防災隊長の参加があり大変盛況で、防災に取り組む意識の高さを感じました。

まず、町田市の防災安全課より、通常取り組んでいる業務の説明があり、行政の役割を確認しました。

次に今回のメインである茅ヶ崎市のマニュアル改定のいきさつと内容の事例発表がありました。

茅ヶ崎市は海に面しているうえに相模川、丘陵地帯もあり、災害危険度は高く、市民の危機意識も高い。マニュアル改定のきっかけは、やはり東日本大震災で、避難所の課題等が浮き彫りになるのを見て、新たな運営マニュアルの必要性を痛感したことによる。改定には、3 カ月でまず基本マニュアルを作成し、その後一年かけて、避難所毎（各学校・32 校）に各々 3 回打ち合わせを行って、各施設や地域の特性を活かした各学校別（避難所）のマニュアルに仕上げた。



新たなマニュアルの特徴は、避難所の役割を開設から閉鎖撤収までの時間軸で役割を整理し、機能的な運営を明確に示したことです。また避難所開設時の混乱対策として必要な機材（避難所開設セット、情報収集セット、MCA 無線等）を予め用意しておくことなど、実践的なきめ細かい内容が記載されています。

また、平時の取り組みでは定期的な避難所打ち合わせ会を行い、さらに年間 150 人規模の防災リーダー養成

研修も行っています。

さらに同市の 28 年度の新しい取り組みとして、避難所を災害時の情報収集及び伝達、救援救護活動を含む災害対策地区防災拠点として指定した。避難所は避難民を受け入れるだけでなく地域情報を集め市役所に情報を送る重要な拠点と位置付けて活用することであり、この考え方に積極性を感じる。また「避難所のイメージを変える」こととし、避難所は避難生活の場だけでなく、災害対応の拠点でもあると理解させること。もう一つは情報の分析と伝達の体験学習を通して「情報の受伝達の方法を考える。」ことなどである。どんな情報を伝えるのか、どうやって情報を伝えるのかを充実させるシステムを作った。

情報の扱いが大きな課題と認識してしっかりと取り組んでいる姿勢など、茅ヶ崎市のマニュアルは一步踏み込んだ内容が多く、参考にしたいと感じた。



質疑応答も大変活発でした。質疑の一例では「避難するか否か、判断方法を市民に啓蒙、PRをしているか？」の質問では、「自宅での生活が出来なくなるかどうか判断基準で、在宅避難もあると繰り返し説明している」と茅ヶ崎市は回答。

今後の予定では、市連合より「町田市防災安全課と共同でベースとなる避難所開設標準マニュアルを作成したい」との提案がありました。「是非作成してほしい」との参加者の要望が多数で作成することになりました。

この研修は視点を広げ、災害時の対応を現実的に考える有効な機会になり、有意義だったと感じました。

編集委員 鈴木則夫

忠生郷土芸能まつり開催

忠生地区は緑豊かな丘陵地帯です。ももともとは農家が多く、林と畑の間に農家が点在する田舎の村でした。今では、東の山崎団地や中ほどの小山田桜台団地といった大型団地があり、畑の間には住宅地が広がり、専業農家も少なくなっています。

この地域には、昔からたくさん神社があり、地域の人々の心のふるさととして守られ、しっかり日常生活のなかに根づいています。ほとんどの神社では、神様に奉納するお囃子のチームがあり、昔からの音楽やおどりを今でも引き継いで伝統を絶やさないように努力を続けています。特に注目すべきは、たくさんの子供たちが、このチームに参加し、太鼓や踊りの練習に励んでいることです。



けれども、せっかく練習しても、発表の機会は意外に少ないのです。ふつうは年一回の秋のお祭りなどで神様に奉納するのですが、それではせっかく練習を続けている子供や大人たちにとって物足りないのではないかと。町田市全体の芸能まつりもあるのですが、出演できるのは地区から一つか二つです。

なんとかこの人たちを元気づけたい、という気持ちから、地区の芸能まつりを開催し、発表の機会を提供すると共に、地区の人々に昔から脈々と続いている伝統芸能を広く知ってもらおうとしました。

まずこの地域の伝統芸能チームを調べ、参加チームを募集しました。当初集まるかどうか心配しましたが、結局8チームの応募がありました。次に、広く知ってもらうために、大会の様子を映像で残し、地域の小中学校や町内会さらに福祉施設などに配

布することにしました。そこで、桜美林大学にお願いし、学生さんたちに撮影とDVD作成をしていただきました。また、掲示用ポスターとプログラムも作ってもらいました。とても素晴らしいものが出来上がりました。

芸能まつりは平成28年11月23日(休日)午後1時から忠生市民センター2階のホールで開催されました。上演順に(演目、チーム名、地区)

- ① 和太鼓：鼓桜(上小山田、もみじ台)
- ② お囃子：図師郷土芸能文化保存会(図師)
- ③ こなやおどり：根岸こなや踊り保存会(根岸)
- ④ お囃子：上小山田囃子連(上小山田)
- ⑤ お囃子：常盤はやし連(常盤)
- ⑥ 獅子舞：矢部八幡宮獅子舞保存会(矢部)
- ⑦ お囃子：上根神社囃子連(下小山田)
- ⑧ お囃子：矢部はやし連(矢部)

開演当初の心配は、観客が集まるかどうかでしたが、次々に人が増え、椅子を何べんも追加し、結局150名くらいの方が来てくれました。

舞台では、太鼓や踊り、お囃子の鐘・太鼓・横笛、おかめやひよつこの踊り、獅子舞などが次々に披露され、観客とともに楽しいひと時を過ごすことができました。



今回は当然入場無料で、地区協議会の事業として実施できましたが、来年はいつやるのか、との問い合わせもあり、今後も継続していけるよう工夫してゆきたい。

(忠生地区 高橋 清人)